

牛久市 農業委員会だより

2016年（平成28年）
第31号

発行所 牛久市農業委員会
住 所 牛久市中央3-15-1
電 話 029-873-2111(代)
再生紙を使用しています



牛久市場とくどく市

秋野菜が豊富に並ぶお店には、多くの消費者が笑顔で品定めをしていました。
又、河童米の袋づめやリンゴ配布には長い行列が出来ました。

***** 主な内容 *****

会長挨拶.....	2
農家訪問	
農地の転用には許可が必要です	
農業委員視察研修.....	3
女性農業委員研修	
農業委員会法の改正	
お知らせ.....	4



新年のご挨拶



牛久市農業委員会
会長 山越 康義

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より、農業委員会の運営・活動につきましてはご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農地は、農業生産にとって重要な基盤であるとともに、環境保全などの役割も果たしております。しかし、農業従事者の高齢化や担い手不足、そのうえ、TPP交渉も具体的内容が明らかになってきており、海外の安い農産物がどんどん入ってくることで、農家を取り巻く環境はますます厳しいものとなっております。しており行く先に不安を感じております。

このような中、農業委員会は、農業者の公的代表として、農業関係機関、団体等と連携を図りながら、かけがえのない農地や担い手を守り、安心して農業ができる地域農業の振興に向けた取り組みをしますので、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



農家訪問

頼もしい若きリーダー

就農して7年目となる中根町の山越隼人さん。御家族は元看護師の奥さん恭子さんと、かわいい息子さん2人(3才と1才)の四大家族です。

現在の経営は米40a、河童大根(春秋)5ha、ネギ20a、枝豆10a、玉ネギ10a。労力は従業員の小室孝さん(高校の後輩)と実家から通って来てくれているお母さんとの3人。大根は農協へ、その他の野菜は直売所へと出荷。また、隼人

さんは市の若い農業者のグループ「UFOクラブ」の一員としても活躍されており、昨年は会長を務められました。

ところで、隼人さんはサラリーマンの家庭で育ったのですが、母方の祖父母宅の畑が家の側にあり、幼い頃から畑で遊んだり手伝ったりして農作業に親しんだとのこと。やがて農業をしたいと大学の農学部に進学し、卒業後祖母と養子縁組をして跡を継ぎ、夢を叶えることができたとのこと。



右から山越さん、小室さん

「農業は自然相手なので、毎年試行錯誤だが、自分の考えを即実践できることが魅力。今後も農地を借り受ける等して規模拡大をしながら、良い作物作りに励みたい。」と爽やかな笑顔で抱負を語ってくれた隼人さん。頼もしい若きリーダーのひとりとして、ますますの活躍が期待されます。

農地の転用には許可が必要です

農地の無断転用をなくそう

農地転用とは、農地を農地でなくすこと、すなわち農地に区画形質の変更を加えて住宅用地や工場用地、道路、山林などの用地に転換することをいいます。また、一時的に資材置場等に利用する時も転用となります。

市街化区域内では届出、その他の区域では許可が必要です。

農地は農業生産の基盤であり、食料の生産はもとより、景観・環境保全など、重要な機能と役割があります。農地はかけがえのない財産です。農業委員会では、無断転用や不法投棄がないよう、毎月2回定期パトロールを実施しています。

皆様も、農地のことで何かお気づきになりましたら、お近くの農業委員または農業委員会へご連絡をお願いします。

農業委員視察研修



11月5日、群馬県川場村(人口三千人)の「田園プラザ川場」を視察しました。国は農産物の生産(加工)販売までの、農業の6次産業化に力を入れています。そして、6次産業化の一翼を担い増えしてきたのが各地の直売所です。

同所は平成5年に設立され、農業と観光を核とし、地場産業の振興・雇用の創出を目指してきた。現在は年間150万人が訪れ、120人が働いている。年間売上高は農産物だけで3億円を越え、出荷者は同村農業者数の半数を上

回る420名となった。高齢農家や女性の実益を兼ねた生きがい対策にもなっている。以上、担当者よりお話がありました。

当日も平日にもかかわらず、大勢の人々で賑わっていました。

女性農業委員視察研修

9月8日、いばらき女性農業委員の会、第11回定例総会が、小美玉市「空のえき・そ・ら」に於いて開催され、「そ・ら」での「売れる農産物」販売への取り組みについてのお話と、2014年に開設された、ジェトロ、茨城貿易情報センター長に依る、「なぜ、今、輸出なのか」という講演がありました。輸出にむけた国内商談会、マッチングの活動状況など、新たな農業の展開についての研修でした。

又、10月8日には、関東ブロック研修会が宇都宮市で開かれ、各県の代表者に依る具体的な実践活動の発表のあと、情報交換を行い、地域農業の振興につなげていく委員としての自覚を新たにしました。

農業委員会法が改正されました

平成28年4月1日施行の主な改正点

1 農業委員の選出方法が変わります。

①公選制から地域推薦・公募に

農業委員の選出方法は、公職選挙法に基づくものから市町村長が議会の同意を得て任命する方法になります。

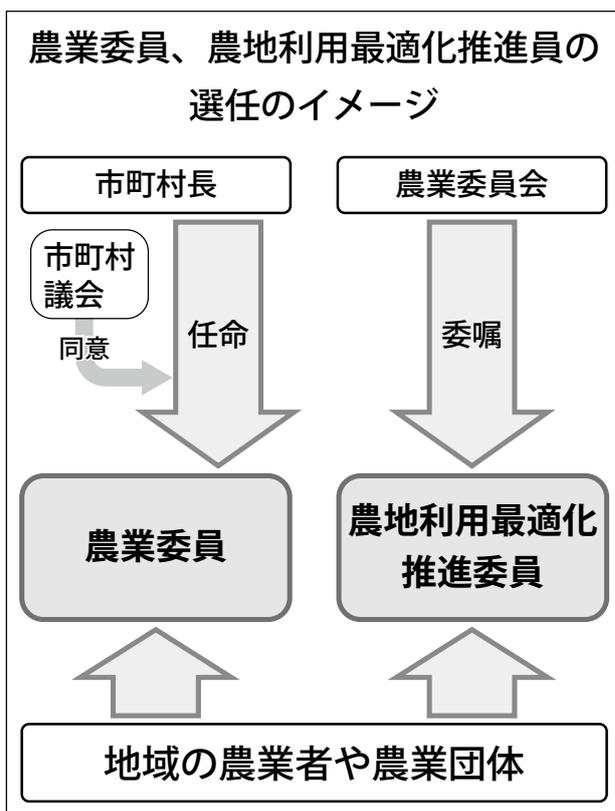
法律の公布日(平成27年9月4日)以後は農業委員会委員の選挙は行わないので農業委員会委員選挙人名簿申請書の提出は無くなりました。

②農地利用最適化推進委員の設置

担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進に積極的に取り組む職務です。

農業委員会は、区域ごとに農業者等から推進委員の候補者の推薦を求め、希望者を募集します。

※改正法の施行は平成28年4月1日で、施行時に在任している農業委員は、任期満了まで引き続いて農業委員としての職務を行います。牛久市が新しい制度に移行するのは委員任期満了後の平成29年7月20日以後になります。





お知らせ



賃借料情報

区分 (10a当り)	賃借料標準額
田	10,000～20,000円
畑	3,000～8,000円

農作業標準賃金

請負作業標準賃金

項目 作業名	単位	料金	備考
深耕	10a	10,000円	
ブラウ耕	10a	6,000円	
デスク耕	10a	3,500円	パワーデスク
普通ロータリー	10a	5,000円	畑
耕起	10a	5,000円	田
代かき	10a	6,000円	
育苗	1箱	700円	硬化苗
畦塗り	1m当たり	35円	
田植え	10a	6,500円	条件により料金割増
育苗～田植え	10a	18,000～20,000円	
刈取り～脱穀	10a	16,000～20,000円	倒伏などの条件により上限とする
刈取り～調整	10a	30,000～35,000円	倒伏などの条件により上限とする (袋詰めまで)
乾燥～調整	玄米60Kg 当たり	1,800円	(袋詰めまで)
粃すり	玄米60Kg 当たり	1,000円	()
麦刈り～調整	10a	22,000円	倒伏などの条件により上限とする (袋詰めまで)
甘藷マルチ張り	10a	10,000円	薬剤散布含む
甘藷マルチ張り	10a	5,000円	薬剤散布なし
落花生マルチ張り	10a	4,000円	
肥料と土壌改良剤の散布	10a	2,500円	資材の運搬は含まない片方のみの場合1,500円

- 農業者年金に加入しましょう
農業者の方なら広く加入できます
1. 農業者年金は、長い老後を安心して暮らすための公的年金制度です
 2. 「積立方式」の長期的に安定した年金制度
 3. 農業に従事する人が広く加入できる
 4. 認定農業者など担い手に保険料助成
 5. 80歳まで保証がついた終身年金
 6. 保険料が自由に選択できる (月額保険料2万円が基本)
- 加入の申し込み、お問合せは最寄のJAまたは農業委員会に！

**農地を相続したときは
農業委員会への
届け出が必要です**

手続きは農業委員会へ
お問い合わせください！

全国農業新聞

「全国農業新聞」を読んでみませんか。「全国農業新聞」は、農業の専門紙でわかりやすい農政解説、農業経営に役立つ情報を満載、盛りだくさんの内容が掲載されています。

★購読のお申込みは農業委員会事務局へ

発行日／毎週金曜日
購読料／月700円 (送料込)

農地中間管理事業について

茨城県農林振興公社 (農地中間管理機構) では、農業経営の縮小やリタイアする方などから農地を借り受け、地域の担い手となる農家に貸し出す農地中間管理事業を行っています。この事業を利用して農地を借りたい方、貸したい方はご相談ください。問い合わせは左記まで。

問合せ／農業政策課 (☎029-873-2111) または、県農林振興公社 (☎029-239-7131) まで。



編集後記

今年には異常気象により、常総市で鬼怒川の決壊という大被害が起こりました。出荷直前のお米、野菜が瞬間の間に濁流にのみ込まれ、その姿に私達農業者は涙する事しかできませんでした。一日も早い復興を願っています。

H28年には、平穏な日々でありますようにと願いつつ編集にあたりました。

編集に協力して頂きました皆様には心より御礼申し上げます。

編集委員 中山みつゝ
塩澤 和子
石島ますみ